

2025 年度事業報告書

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

一般社団法人 Home NOC Operators' Group

目次

1. 2025 年度事業の概要	3
2. 会員の状況	4
2-1. 会員数の推移	4
2-2. 学生正会員の加入	4
2-3. 会費制度の変更.....	5
3. 社員総会開催報告	5
4. 事業報告	7
4-1. 他の技術コミュニティとの交流や勉強会の開催に関する事業.....	7
4-2. ネットワークをはじめとする設備の設計、構築、運用に関する事業.....	10
4-3. インターネット接続性や設備の提供やその運用に関する事業.....	10

1. 2025 年度事業の概要

本年度は昨年度に続き台湾や香港をはじめとする海外の技術コミュニティとの積極的な交流を行うと共に、老朽化した基盤のリニューアル(Ether IP トンネル装置、仮想化基盤、サーバー等)、運用自動化を積極的に行なった。各施策は学生正会員を主体に行っており、今後の進路選択などにおいて選択肢を広げるものになればと考えている。また、エンジニアの育成などにおいて、アジア太平洋地域のインターネット業界の発展に微力ながら貢献できればと考えている。

2026 年 4 月 1 日より会費の改定(年間一括払の場合の割引率の縮小)を決定した。当法人は設立から 5 年が経過し、当時と比較して物価の上昇が続いている他、為替の円安傾向が強まっており、インフラ維持に関わる様々な調達コストが増加している。当法人が学習や技術者育成のために自由に利用できるインターネットバックボーンを維持し続けるために会費制度と安定した法人運営は必要不可欠なもので、ご理解とご協力を頂ければと考えている。

なお、2025 年度は前述の通りインフラ維持に関わるコストが上昇したこと、一部資産の償却を行ったこと、FreeBSD を利用したトンネル装置の全国展開にコストが掛かり、約 20 万円の赤字決算となった。来期は黒字化を目指した事業運営を行う所存である。

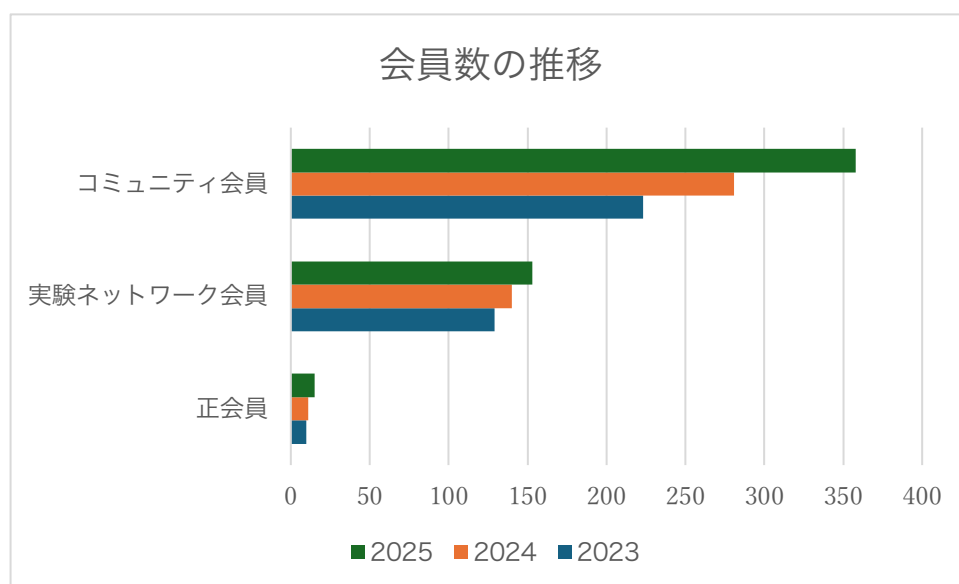
2025 年度も各事業を順調に遂行することができたのは、会員及び関係各位のご支援、ご協力の賜であり、厚く謝意を表すものである。

2. 会員の状況

2-1. 会員数の推移

2026年3月末(2025年度末)の会員数は以下の通りとなる。2024年度と比較しほぼ同等の会員の伸び率で推移している。

- 正会員（理事含）：15名
 - 前年度比：4名増加
- 実験ネットワーク会員：153名（個人／団体）
 - 前年度140名、前年度比：9.3%増加
 - 内学生会員：51名
- コミュニティ会員：358名（個人／団体）
 - 前年度281名、前年度比：27%増加



2-2. 学生正会員の加入

当法人では2024年度に続き、学生の正会員の加入を積極的に認める方針としている。これは昨今の業界全体でのエンジニア不足の状況を鑑み、当法人が理念として掲げる「若手エンジニアの育成」に微力ながら貢献するため積極的に学生正会員の加入を認めるべきという考えを継続していること、団体(任意団体時代を含む)設立初期のメンバーが30代となり多忙により活動へ時間を割くことが難しいケースが出てきており、団体の若返りを図るためである。学生の正会員には当法人から活動内容を指示することは極力せず当法人のネットワークを使って各自が取り組みたいことに自由にチャレ

ンジする方針を取っている。なお、2025年度は4名の学生が体験加入(※)し、内3名が学生正会員となっている。

※ 学生正会員加入希望者には法人としての議決権を持たない状態で2ヶ月程度ネットワークの運用を経験してもらう体験制度を2024年度から内規で設けている。

2-3. 会費制度の変更

2026年4月1日から会費制度の変更（年間一括払い時の割引率の引き下げ）を決定した。これは、当法人の設立された5年前と比較して物価の上昇が続いている他、為替の円安傾向が強まっており、インフラ維持に関わる様々な調達コストが増加しているためである。

なお、昨年度問題となっていた会費の未納率が高い問題は地道な督促活動などにより解消しており、2025年3月末時点での未納者は0名(団体)となっている。

3. 社員総会開催報告

● (定時) 社員総会

2025年4月26日開催

(理事3名、社員7名出席)

➤ 第1号議案

◇ 2024年度事業報告について、出席者全員の一致を以って承認可決された。

➤ 第2号議案

◇ 2024年度決算報告について、出席者全員の一致を以って承認可決された。

➤ 第3号議案

◇ 2025年度の事業計画及びに予算計画について、出席者全員の一致を以って承認可決された。

➤ 第4号議案

◇ SorahFukumori氏の正会員加入について、出席者全員の一致を以って承認可決された。

➤ 第5号議案

◇ 村田航志氏の正会員加入について、出席者全員の一致を以って承認可決された。

➤ 第6号議案

◇ 事務局規定の改定と新事務局長について、出席者全員の一致を以って承認可決された。

● (臨時) 社員総会

2026年1月12日開催

(理事3名、社員13名出席)

➤ 第1号議案

◇ 会則第8条、第9条(会費)の改定について、出席者全員の一致を以って承認可決された。

➤ 第2号議案

◇ 会則5条(入会)の改定について、出席者全員の一致を以って承認可決された。

➤ 第3号議案

◇ 反社会的勢力の排除条項の追加に関する会則改定について、出席者全員の一致を以って承認可決された。

➤ 第4号議案

◇ Webサイトに掲載している会員制度(会則とは異なる)について、会則の変更に伴い変更することに関して、出席者全員の一致を以って承認可決された。

4. 事業報告

4-1. 他の技術コミュニティとの交流や勉強会の開催に関する事業

- TWNOG

2025年4月に開催されたTWNOG（台湾地域のネットワーク技術者の会合）に正会員の吉川と理事の山口が参加した。当法人の実験ネットワーク会員でもある国立成功大学ITLAB (AS38254)の皆様と情報交換を行なった。また、台湾でのPOP開設のためにインターネットエクスチェンジやデータセンターの事業者と交渉を行なった。

- JANOG56 ミーティングのBoF 主催

2025年7月に島根県松江市で開催された「JANOG56」の野良BoFにおいて「個人やサークルでのAS運用を議論するBoF」を開催した。当法人の正会員の吉川が「フィリピンPOP設立と国際バックボーンを持つ意義(と苦労話)」について発表を行なった。

開催レポート：

<https://www.homenoc.ad.jp/blog/report/2025/08/09/janog56-bof.html>



JANOG56 BoFの様子

- 麻生情報専門学校との勉強会開催

当法人の福岡 POP が設置されている麻生情報専門学校を 2025 年 6 月に訪問し、同校の学生サークル「Asobi NOC」のメンバーとインターネットルーティング技術に関する勉強会を開催した。



勉強会の様子

- HKNOG

2025 年 10 月に開催された HKNOG（香港地域のネットワーク技術者グループの会合）に正会員の吉川と理事の山口が参加した。香港や深圳地域にも当法人と似たような活動を行っている団体があり、それぞれの団体の活動状況や課題などについて情報交換を行なった。

- QUNOG

2025 年 11 月に熊本県玉名市で開催された QUNOG33 ミーティングで正会員の梅田が「AS59105 における FreeBSD Ether IP の運用と課題」というタイトルで 2025 年度に主要拠点で導入を開始した FreeBSD を利用した Ether IP トンネル装置の成果と技術的課題について発表を行なった。



QUNOG33 での発表

- JANOG57

2026年2月に大阪府大阪市で開催された「JANOG57」の野良 BoF において「個人やサークルでの AS 運用を議論する BoF」を開催した。当法人からは正会員の平地が「AS59105 を支える運用・自動化技術」として会員管理システムの設計などについての発表を行なった。

開催レポート：

<https://www.homenoc.ad.jp/blog/report/2026/02/14/janog57-bof.html>

4-2. ネットワークをはじめとする設備の設計、構築、運用に関する事業

- 新 Ether IP トンネル装置 (FreeBSD) の展開

2024 年度にテスト導入を開始した FreeBSD を利用した Ether IP トンネル装置について試験導入した拠点で良好な結果が得られたため、トラフィックの集中する主要拠点への展開を行い完了した。

- メールサーバーのリニューアル

2026 年 3 月にメールサーバー(homenoc.ad.jp)のリニューアルを行なった。新メールサーバは DMARC/DKIM をはじめとするメールサーバに求められるセキュリティ技術に対応すると共に、スパムメールフィルタ機能や Web メール機能を搭載したものとなっている。

- サーバー基盤リニューアル

2024 年度に決定した仮想サーバ基盤の「VMware ESXi」から「Proxmox」への移行を実施し完了した。なお移行の開始後 VMware 製品を開発販売する Broadcom 社が無料版を継続する方針へ変更を行なったことから、関西地区の 1 拠点のみ「VMware ESXi」での運用を継続している。本拠点については現在のハードウェアがサポート終了になるまで「VMware ESXi」での運用を継続する予定である。

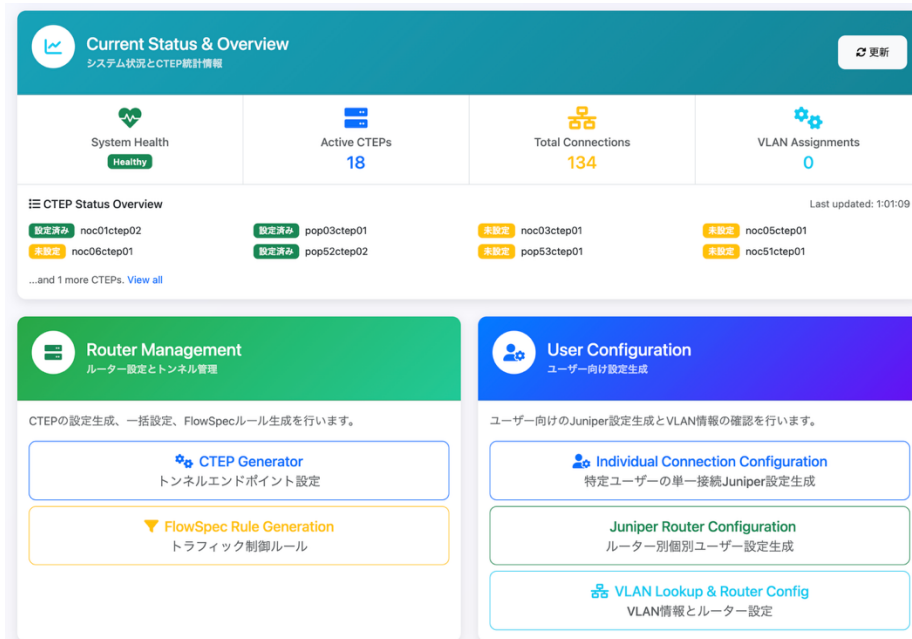
4-3. インターネット接続性や設備の提供やその運用に関する事業

- 会員管理システム機能強化

当法人では会員管理システム(通称会員ダッシュボード)を運用しているが、2025 年度に「反社会的勢力ではないことを誓約する機能」「IX で実験ネットワークに接続する方式への対応」を行なった。会員管理システムは当法人の会員管理事務の効率化を行うだけでなく、学生正会員がシステム開発を経験する場ともなっているため、今後とも積極的に機能強化を行なっていく。

- 実験ネットワーク会員の自動設定システムの強化

実験ネットワーク会員が接続する際の当法人側の設定を自動化するシステムを開発しリリースした。本システムは会員管理システムと連携しネットワーク装置の設定を自動的に生成する。また、FreeBSD を利用した Ether IP トンネル装置について自動的に設定の反映までを行う。



自動設定システムのトップ画面

- サンプルコンフィグ Web の公開

ネットワーク初学者や学生が当法人の実験ネットワーク会員として入会してネットワークに接続する際に、自身のネットワーク装置の設定に苦勞するケースが散見される。当法人では学習を目的としたネットワークであるという理由により自己解決を原則としているが、挫折してしまう会員も居る状況を鑑み主要ネットワーク機器でのサンプルコンフィグ集を公開した。

サンプルコンフィグ集：<https://docs.homenoc.ad.jp/>

以上